

私のすすめるこの1冊

香川 貴志 (社会科学科 教授)

『味わい深い京都まち歩き—歴史・地理と祭りから見た京都のまとめ帖—』

中田 哲(著)

著者の中田哲氏は1968年に本学を卒業した同窓生で、長年にわたり大阪府立高校で教鞭を執り、定年退職後も同好の方々とともに歴史・地理に関する「まち歩き」ガイドを企画運営してこられた方である。専門領域は地理学なので、その知識の基層には自然地理学的な河川や環境についての知識があり、祭礼を主とした京都の文化にも造詣が深い。こうした氏が2013年以降に実施した「まち歩き」ガイドは、こんにちまで計74回にも及ぶそうだ。それを選びすぐって約半数のコースをまとめ直し一冊の本にしたのが本書である。

まず本書は、まち歩きの際に読者が携行しても負担にならないサイズと厚み(A5判、208頁)が魅力的である。書店の店頭に並ぶ京都のガイドブックのようなオールカラーでの派手さは無く、お勧めの飲食店や食事の案内も無い。それでも読み進めると楽しさを感じるのは、歴史と地理を融合させながら地域を観察することの面白さが詰め込まれているからだろう。著者は教員だったころから常々「個々の事象を覚えさせる地理は『地理嫌い』を増やすだけなので、地域固有の事象が織りなす様々な要素の因果関係を探れるよう努めています」と話しておられた。こうした温か味のあるこだわりが本書の基盤になっている。

内容は、「はじめに」に続き、京都を象徴する鴨川の

話題が冒頭にある。通常のガイドブックならば、鴨川の美しさや風情への礼賛で読者をいざなうレトリックが使われるが、本書は今の河川形状に至った鴨川の改修歴の説明から始まる。都市河川には治水が不可欠なので、そこに携わった人々の叡知がコンパクトに整理されているのが好ましい。それに次いで目次が配置され、個別地域の「まち歩き」ガイドがそれに続く。NHKカルチャーセンターとのコラボ企画もいくつか含まれている。紹介される地域は、第1章から第5章までをたどると、京都北地域、旧洛中域、京都西地域、京都東地域、京都南・その他地域、となる。各章で扱われる個々の地域には多寡がある。なお、京都市外の郊外や京都とゆかりの深い隣接他府県については第5章で扱われる。そして、第5章の後には、特別企画として高瀬川と洛中洛外図を素材とした「まち歩き」が添えられている。

各内容について、お勧めの訪問時期が示されているのは、季節を選んで気軽に訪問できる特権を活かせる点で、遠来の旅人よりも在洛あるいは京都近辺で暮らす者にとってありがたい。この図書館ニュースをご覧になっている皆様も本書を手にとって「まち歩き」に興じてみてはいかがだろうか。そうすれば、本書タイトルにある「味わい深い」を実感できるはずである。こうした経験は大学在学中にしておいた方がよい。

☆☆ 学修相談カウンター ☆☆

京教の先輩が勉強や教育実習など、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？ぜひ気軽にお立ち寄りください。

【時間】授業期間の平日 2~4限のうち該当の時間

【場所】北館 2階 ラーニングコモンズ

時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する、、、などの場合はメールでの相談も受け付けています。

詳しくは HP 等でご確認ください↑



こんにちは。今年度も引き続き図書館学習支援員をさせていただきますことになりました。大学院では言語学、英語教育学を学んでいます。中学校の先生になろうと思っています！皆さんが大学で学修していくうえで困っていること、聞いてほしいことなんでも相談してください！いつでも Welcome です！

教職教科学習探究（英語/国語）

支援員からみなさんへ:Part.2

<掲載内容> アイコン、自己紹介、専修・コース名
(専門分野)



私は、子どもが安心できる教室を目指し、大学では教育文化、大学院では主に生徒指導や学級経営について学んでいます。現在は、小学校、中学・高校（国語）の免許を取得しており、今年度は特支一種の免許を取得する予定です。また、大学院修了後は公立小学校に勤務予定です。教員採用試験や教育実習の授業づくり、卒業論文作成等で悩んでいることはありませんか。小さなお悩みでも構いませんので、ぜひご相談ください。一緒に考えましょう！

初任期教員養成コース（教育/臨床）



私は、教科学習探究コースの数理自然・技術プログラムに所属しています。研究テーマは、中学校理科において通常学級に在籍する生徒全員が授業に参加できることを目指した「ユニバーサルデザイン授業」の開発です。教員免許は、小学校1種、中学校理科1種、高等学校理科1種、特別支援学校（知肢病）1種を持っています。みなさんの楽しく、充実した学生生活のために、何かお力になれば嬉しいです。お気軽にお声がけください！

教科学習探究コース（理科/特支）

☆☆図書館は、いつもみなさんの「まなび」を応援しています☆☆

🌸 9月卒業・修了生の貸出期限の延長について

2023年9月末で本学を修了する予定の方（科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む）は、貸出期限が9月8日（金）までとなっているため、返却期限日も9月8日（金）になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月9日（土）以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、9月29日（金）まで延長できます。カウンターでお尋ねください。図書館への入館・閲覧については手続き不要で、9月29日（金）まで利用可能です。

🌸 製本作業による雑誌の利用制限について

10月中旬頃まで、南館1階にある雑誌のうち2022年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階電動集密書架に配架しますので、そちらをご利用ください。

※製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。※詳細についてはカウンターにお尋ねください。

🌸 夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生：7月26日（水）～9月25日（月）
院生・教職員：7月12日（水）～9月11日（月）

【返却期限日】10月10日（火）

※卒業・修了予定者は9月8日（金）まで



学修支援員のオススメ本!
 <掲載内容>テーマ、蔵書データ、おすすめポイント

テーマ:日本史の専門書



『倭の五王：王位継承と五世紀の東アジア』
 河内春人(著) 中央公論新社、2018
 配置場所：新書 南館2階
 請求記号：210.32||K015
 資料ID：9171103826

<おすすめポイント> 4世紀末～6世紀初めの日本史と世界史(中国史)の横の時代の流れを朝貢(冊封体制)に焦点を当てています。時代の流れを表にまとめているので、とてもわかりやすいです!

テーマ:教員を目指す人へ



『クラス全員のやる気が高まる!音読指導法：学習活動アイデア&指導技術』土居正博(著)
 明治図書出版、2021
 配置場所：開架 西館2階
 請求記号：375.82||D 83
 資料ID：9211039208

<おすすめポイント> みなさんが小学生の時から何となく行っていた「音読」。果たして、子どもたちにとって意味のある学習になっているのでしょうか。音読の必要性や指導法を学べる一冊です!

テーマ:道徳教育の入門書

『道徳教育はホントに道徳的か?:「生きづらさ」の背景を探る(どう考える?ニッポンの教育問題)』
 松下良平(著) 日本図書センター、2011
 配置場所：開架 西館2階
 請求記号：371.6||MA88
 資料ID：9171118493



<おすすめポイント> 道徳教育は「正しい」、「善い」とされることを教えるだけのものといえるのでしょうか。批判的に見てみることで改めて「道徳とは何か」を考えさせてくれる本です。

テーマ:ちょっと一息つきたい時に

『窓ぎわのトットちゃん』黒柳徹子(著)
 講談社、1981
 配置場所：軽読書 南館1階
 請求記号：||KU78
 資料ID：9880196117



<おすすめポイント> 発達障害ではないかと言われている黒柳徹子さん。そんな黒柳徹子さんがどんな小学生時代を過ごしたのかについて書かれている本です。子どもの視点から「自由な学び」について考えるきっかけになるかも!?

テーマ:論文/レポートを書くときに役立つ!



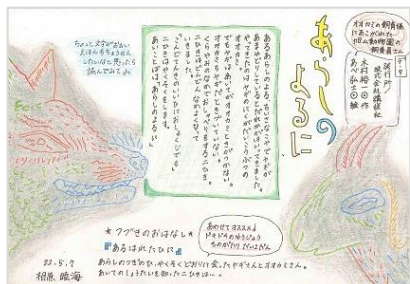
『レポート・論文の書き方入門(第4版)』河野哲也(著) 慶應義塾大学出版会、2018
 配置場所：開架 南館2階
 請求記号：816.5||KO 76
 資料ID：9181067722

<おすすめポイント> 卒業論文を書いていた学生時代、必ず手元にあった本!論文の構成で迷った時には、導いてくれる一冊。

児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)
 『あらしのよるに』
 作:きむら ゆういち
 絵:あべ 弘士
 出版社:講談社



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【9月の開館日時】

4日(月)、11日(月)、18日(月・祝)、25日(月)
 14:00~17:00

今月の逸品(8・9月)

標本(蝶)
 京都師範学校旧蔵
 展示場所:附属図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **武島 良成** (社会科学科 教授)

シャン、カレンニーの帰属問題(1942~1943年) — 東条政権の「新政策」は反映されたのか —

武島 良成

京都教育大学紀要 2023, No.142, pp. 1-14
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9768>

1941年、日本軍は東南アジアに、欧米からの「解放」をスローガンとして攻め込み、その後1943年8月にビルマに「独立」を付与しました。この時に日本軍は、山岳部のシャン州やカレンニー州で軍政を続け、12月末に両州をビルマ国に編入しました。これまで、このような手順でシャンやカレンニーの帰属が決められた理由を説明した研究はありませんでした。また、この件が東条英機内閣の1943年以後の「新政策」(任せられる部分を現地住民に任せる政策)とどう関係するのかも明らかにされていません。

本稿は、日本陸軍や外務省の史料、一部にビルマ語の史料も使い、右の諸問題を解き明かそうとしたものです。その解答は本文で示しましたが、以後の研究に繋がる幾つかの視点も指摘・確認しました。それは例えば、南方軍が占領地の領有にこだわり続けたこと、東条英機—河辺正三のラインが「新政策」を主導したこと、バモオ政府が日本軍の意向を無視して「土侯」制度の改編に意欲を見せたこと、などです。

このうち「独立」ビルマのバモオ政府の(少数)民族政策は、それが同政府の自立的性格を示す一つの材料になるだけでなく、戦後のパサパラ政府(当初のリーダーはアウンサン将軍)の政策の前提としても注目されます。というのも、近年、アウンサンの民族政策の稚拙さを強調する論稿が目につきます。しかし、アウンサンらは基本的に日本占領期に一旦合邦された領域を継承したのであり、そうであれば、日本やバモオの政策を視野に入れて比較・検討をし、評価を定める必要があるからです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要142号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9/6 館内整理日

2023年10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10/2 後期授業開始

10/21 大学院入試(学外者利用不可)

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.276 (2023年9月号)

発行日:2023年9月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION